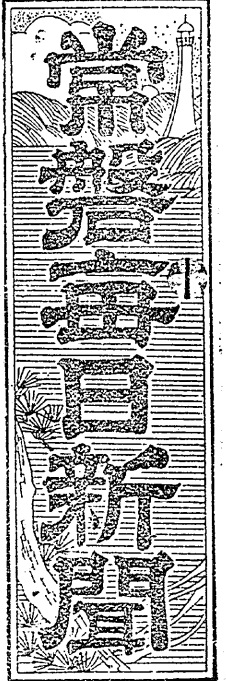


刊夕 日九月七



定額 一冊五錢 一ヶ月五拾五錢 三ヶ月一圓二拾五錢 半年二圓 一年三圓
 廣告料 五錢 十二字 一行 五錢
 印刷費 常警日新聞社
 發行所 常警日新聞社
 印刷所 常警日新聞社

童話の指導 (三)

寺田喜治郎

童話で申しますれば、此の期では幼稚園無意義話等の極めて簡単なものが必要です。

幼稚園話といふのは内容からいへば殆どとりとめた意味を持たないが、形式からいへば物語の全部又は大部分が詩の形式を有するもの或は詩でなくともその文句や全體の結構は一種の調子のものである。詩の形になつてゐるものは童話の一部分であること申すまでもありません。詩でなくて調子のある部分の例を挙げますと、

天から落ちた棒の頭につばめが一羽とまりました棒はばたんと倒れました。燕はびくりして飛立ちました。そして棒の倒れた方へ真直に風を切つて飛びはじめました。

「燕さんどちらへ」
 「大きいそぎ〜」燕が申しました。野鼠がびつくりしたやうに自分の穴から飛出すと燕のあとをおつかめました。
 「もし〜野鼠さんどちらへ。」
 「大きいそぎ〜」野鼠が

申しました。私たちは自分の藪から飛出しました。そして野鼠のあとをおつかめました。
 「いたちどこへ行く」猫が塚の上からとなりまして。

「大きいそぎ〜」猫が塚の上から飛下ると、私たちのあとをかけたしました。
 「三毛さんどこへ」
 「大きいそぎ〜」
 犬はあはて、猫のあとをかけたしました。
 「皆さんおそろひでどち

さして一同川へさしかかりました。
 燕は川を越えて向ふへ飛んで行つてしまひました。野鼠はまつさきに川に飛び込みました。いたちが負けん氣になつて飛び込みました。あ

【朝】味噌汁 茄子 小付 福神漬
 【晝】野菜—シチコー—馬鈴薯 人参 小かぶ 玉葱
 【晩】焼物—ビーフステーキ 生トマトをへ 清汁—くずうち えび 三つ葉

「大きいそぎ〜」
 牡蠣もかけました。牡蠣も自分のひよこ達つれてかけ出しました。家鴨もぶかつかうな體を、左右に振立てながらかけ出しました。

時計

高橋時計店
 平町二丁目
 ・小役員募集委細面談。

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平町 南町 一六(電話一七〇番)

品自慢と正直な値段
 自転車・リヤカー
フタバ商會
 新川町郵便局前

具雨とケヨヒ
 敷島のリョケ如何にと人とはば

日	除	雨	具
店舖用、事務所用	御座敷用、其ノ他	トラク用、馬車用シート	作業用、各種雨衣

 朝日夕日に便利なるかな
 除日・覆雨諸・幕天山登
敷島トント商店
 平町六丁目

婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑士 大岩俊雄
 平町新川町十九
木村病院
 病室完備 入院隨意
 電話一六四番

公認甲種
石田電機工業所
 電動機・變壓器・電燈
 發電機・捲線修理・動力
 電氣工事
 設計請負
 平研町(電呼二五七番)
 石田亮三郎

毎度御引立を載いてゐる
 藤寅では例年通り
 冷たい美味しい飲物
 アイスクリーム、アツキアイス
 ミルクゼーキ、ソーダー水
 ミツ豆、クリームソーダ
 其他氷水各種
 相初めました。是非夏の夕の御散歩歸へりに御立寄り下さい。
 平一丁目
藤寅
 電話一四一

◇例年の通り
やな川なべを
 始めました。
 御一人前 金二十五錢
 御二人前 金四十五錢
 出前は迅速に御用便を勉めます。
 其他御料理は御望に依り調理致します。
石川亭
 電話四十三番

毎度御引立を載いてゐる
 藤寅では例年通り
 冷たい美味しい飲物
 アイスクリーム、アツキアイス
 ミルクゼーキ、ソーダー水
 ミツ豆、クリームソーダ
 其他氷水各種
 相初めました。是非夏の夕の御散歩歸へりに御立寄り下さい。
 平一丁目
藤寅
 電話一四一

縣からの割當

今一息の處

東北振興株の

信用組合申込

信用組合石城部會は昨八日午後一時より丸友ホールに臨時總會を開き東北振興株の引受に就いて協議した結果平庶民金庫大浦組合の各三百株の大量申込みに対し四倉、小名濱、江名の各二百株等があり結局第一回申込数は二千三百株に増加を見て居から縣の割當三千五百株に今一息の處迄に至つた

庶民金庫

株式申込

平信用組合庶民金庫は昨日午後一時から組合指旨總會を開き東北振興株及び同電力株三百株の申込みを決定し是れに附隨して定款を改正した

唱歌をテストして

優良校を放送さす

石城第四區四倉方部の小兒兒童唱歌會は来る二十二日午前九時から草野校講堂に開催されるが優良校の放送を行ふ爲にH.K.より審査員が臨席すると

信用組合

特別指導

本年四月郡下信用組合から特別指導組合に指定された玉川信用組合は来る十九日午前九時から同村小學校に縣信聯主事小松直人氏の講演を開き午後は臨時總會

育所、幼稚園、方面委員等で七月二十五日迄に縣へ申込みたしと

澤村神社

十四日に祭典
平窪村利安寺鎮座澤村神社祭典は来る十四日執行、青年團員の餘興等ある筈

電氣事業 資格試験

平商校舎で
仙臺逓信局管内逓通に於ける電氣事業者の今年度第一回資格試験は来る二十五日平商校舎で行はる由

學生列車を

夏季中々止

平驛では市内各中等學校の夏休も迫つたので常磐線左記四列車の通學生用車輛を来る廿一日から八月末日迄中止することになつた
△上り平發午前六時十分湯本行、同平發午後三時二十分分水行△下り湯本發午前六時五十八分平着同高發午前七時三十一分平着

謹告

本社工場新築工事に着手の爲め七八兩日に亘つて休業其間機械及び活字類の移轉を了し假社屋に於て業務開始致し候間何卒不相變一般印刷物多小に不拘御用命願上候
七月九日

常磐毎日印刷株式會社

四倉方部女教員會

總會に正木馨女校長講演

石城第四區四倉方部の女教員總會は来る十一日午前九時から豊間校講堂に開かれるが當日は會員の研究發表の外馨女校長正木貞二郎氏の講演がある由

銅像委員出福

平第一篠山、同第二千葉の兩校長は今明の兩日福島市教育

ラヂオ体操

指導者講習

仙臺逓信局主催部下ラヂオ体操指導者講習會は来る廿一日午前九時より正午迄平町第三小學校講堂に於て執行、参加者は大体百名に上る見込

交換手の

修得式舉行

平局へ殺倒した電話交換手志願者二百餘名の中から選抜試験の上採用された交換手の卯十名は四月十一日から見習生として係員から實地指導を受けて居たが最近では完全に一人前の技倆を修得したので平局では是等十名の見習生の修得式を明日午前十時から局樓上に開く事になつたがこれで見習生は雇員を命せられて手當も六十錢から六十五錢を支給される

海水浴は豊間へ!!

白砂青松 一日の潮干付 お家族連れも絶対安全
豊間 海水浴場 接近・遠淺・磯遊びに好適
沼ノ内 海水浴場
沼ノ内財辨天 賽ノ河原(薄磯)
鹽屋崎燈臺 大敷漁業
二見ヶ浦
名勝 (無料脱衣場) 娯樂の設備あり
設備 (一疊壹圓内外) 御紹介あれば 御便宜取計ひます
貸問
自動車料金
期日七月十五日ヨリ八月三十一日まで特別割引
平………豊間片道三十錢 (往復) 四十五錢
平………薄磯・沼ノ内片道廿五錢 (往復) 四十錢

今年も是非豊間へ!!

主催 豊間村青年團
後援 豊間村消防組
野崎自動車部
電話三四三三 三四〇番
鈴木自動車部
電話二二七番

に就いて町役場青年、消防が協議の上来る十七日から八月末日まで九面海岸に脱

衣場を設備する外警備救護等にも遺漏なきを期すると

備を進めてゐるが當日の参加者多数に上る見込
平局改善協議 平局は来る十六日午前十時から局内業務研究調査會を開き業務改善に就いて協議する
平職業紹介所報告
回人を求める方
△自動車助手 廿才迄 尋卒 給料三・五圓
△出前持 十五・廿才迄 尋卒 給五圓
△回職を求める方
△見習看護婦 廿三才 高卒 尋卒
△サイドカー運転手 卅才 尋卒
△コック 廿四才 尋卒
△化學藥品職工 廿一才 中卒

自派に有利な

臆測から出發して

家出の理由を解釋か

三阪の攻争抗々熾烈

昨年の晩秋、避遠の山村に發生して世目を聳動させた三阪村大字下三阪區長白石清次(五)殺害事件は百五十年前の天明年間に端を發する

未曾有の 團体的部落抗争が昭和の現在まで血で血を洗ふ攻争を繼續して居る不詳事實を端なくも暴露事件發生當時二十數名を平署に連行して取調べたが確證がらず遂に謎の獵奇的殺人事件として迷宮入りを傳へられてゐたが、最近に至つて事件當時

容疑者として平署に引致釋放した反區長派の中堅、鈴木源一(三)永山靖夫(七)の兩名が去る六月十三日以来容疑として姿を晦まして居り同派の者が或は區長殺害事件の餘憤から區長派に殺害されたものと見做して青年團の手を以つて山狩を爲し行方を捜査した事實等あるため平署は俄然之等

兩青年の 失踪が何等かの區長殺害事件の鍵を握るものと睨んで内偵を進めてゐるが失踪した青年鈴木、永山の兩名は去月十三日農

繁期の田圃に差しかゝつて農具仕込みのため小野新町に向つたと稱して居るが鈴木は家を出る當時現金七圓六十銭しか持たず永山は同人

叔母名儀 三百餘圓積立の貝泊局の郵便貯金通帳を所持して出かけたが現在に至るも附近何れの局よりも拂戻して居らず家を出た當日小野新町の遊廓で兩名遊興、その後姿を晦ましたものであるがそれ以後の足どりは全く不明となつて居り、又別方面からは大阪方

中産或は それ以上の家庭で出稼等の必要は無く何等か區長殺しの事件の鍵を握つて姿を晦ましたものと見られるため平署は果然色めき立つて捜査の手を進めてゐるが同村は現在に至るも部落内に兩派が對立して事毎に自派に有利な臆測をもたらしめてゐるので此の点に就いても大きな疑惑を持たれてゐる

實母戀しく

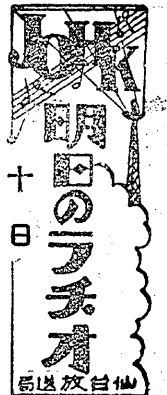
十二才の幼女が

四里の道を徒歩

山道の日暮れに泣く

昨八日午後七時頃薄暗くなつた平町鎌田山内に泣き叫ぶ女兒あるを通行人が發見、平署で保護を加へたが右は久之濱町某資産家の養女鈴木フミ子(三)假名で數年前別れた實母を慕つての餘り戀しい實母が田村郡神

侯町に住んで居るを聞き同日早朝無断で家出し遙々鐵路傳へに徒歩で出かけ四里近くの前記鎌田山で日が暮れた爲め子供心に淋しく泣き出したものと判明平署で保護を加へ養父を呼び出して引渡した



明日のラジオ
今夜は南の風小
雨曇り明日は南
の風晴一曇り

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「たまは働く」に はとり座
- 後六、二五 趣味講座「盲人挿話」中山太郎
- 後七、三〇 農家の時間 「薬劑による稲作病害虫の豫防に就て」尾上哲之助
- 後八、〇〇 レヂュウ(桃谷中繼)「モンテ・クリスト伯爵」寶塚少女歌劇月組生徒
- 後八、四〇 俗曲「替歌集」市三
- 後八、五五 俗曲 とらゆき
- 後九、〇五 落語「留守番」三遊亭金馬
- 後九、三〇 時報 ニニ一ス 明日の話題 氣象通

是れ見よがしに

三尺の秋水

よい氣で威張る

實は玩具の竹光

泥酔行商人留置場入

昨八日夜十時頃平町田町地内で三尺餘の大刀を腰にたばさみ泥酔して徘徊する舉動不審の怪漢を平署員が檢挙取調べた處、右は三重縣生當時住所不定、石鹼、針行商人中村捨吉(四)で早朝來町内各所で飲酒泥酔の結果、子供用玩具の大刀を持

ち出し、氣になり大きくなつてゐたものと判明、散々お目玉を頂戴した揚句留置場入りとなつた

警中授業短縮 警中は一學期の學力考査も昨日限終つたので今九日から授業を四十分短縮する

八幡様の境内で

殴り込の葬賭博

此の假想で植田署召集

植田署では昨八日午後一時半管内巡査の非常招集を執行所要時間一時間を以つて八幡神社境内に開張されたと假想して活潑な活動を開始、終つて料亭みどりで慰

して世目を聳動させた殴り込み事件の葬賭博が同町八幡神社境内に開張された

明日の部

- 前六、三〇 國語講座 佐伯常磨
- 前七、〇〇 朝の修養「佐久間象山先生の本領」薄井福治
- 前八、三〇 家庭講座「素麵の榮養と料理」小山瀧之助
- 後八、〇五 琵琶「瀧の口」半田錦泉
- 後八、三五 國民歌謡「娘田草船」阿部秀子
- 後八、〇〇 婦人講座「短歌と俳句の味ひ方、作り方」土屋文明
- 後二、四〇 小學生尋六の時間 理論的對話劇「水と火」大阪教育研究所
- 後三、一〇 教師の時間 「我が校に於ける學校放送利用の實際」木島延藏
- 後六、〇〇 童話とピアノ橋本さき 勝本稔子 仙臺市向山校兒童
- 後六、二五 基礎英語講座 鹽谷榮
- 後七、三〇 講演「安全な履物」海野三郎
- 後八、〇〇 謠曲「融」星野利明
- 後八、三〇 獨唱「校歌と寮歌」内田榮一 桃谷中繼
- 後八、五〇 浪花節「巖窟王」春日亭清鶴

手長女中

數回主家より

江名町大字中之作自動車業吉田昇八方女中豊間村字八

時間外と断られ

椅子を揮つて大暴れ

茨城縣多賀郡豊浦町字北宿生漁夫篠原次雄(三)は六日夜十二時頃小名濱町古港カフエー松月方に至り登樓せんとして同家女給井上シン(三)に時間外ですと断られて憤慨、店先にあつた椅子を揮つて同女を殴打右腕に全治一ヶ月の重傷を負はせたと發覺、八日平署員が檢舉した

定無職高田文雄(三)に係る窃盜並に住居侵入事件の公判は今日午前十時から平區で香西判事係り氏家檢事立會の下に開廷事實問の上檢事から懲役十ヶ月を求刑されたが判事から即決求刑通判決を言渡された

△既報假空の山林をでつち上げ赤井村鑛泉白石源一氏から五百圓詐取を企て、果さず湯本町で豪遊中逮捕された東白河郡宮本村大字論田前科二犯葉谷案郎(三)は其後平檢事局に送檢され氏家檢事の取調べを受けてゐるが今日詐欺未遂罪として起訴近く平區で中島判事係りの下に公判を開廷される

裁判一束

△既報湯本、警備方面を荒した足で平町の一働きを企て尼子自動車部に忍び込む所を發見逮捕された北海道瓜生郡幌加内村生れ住居不

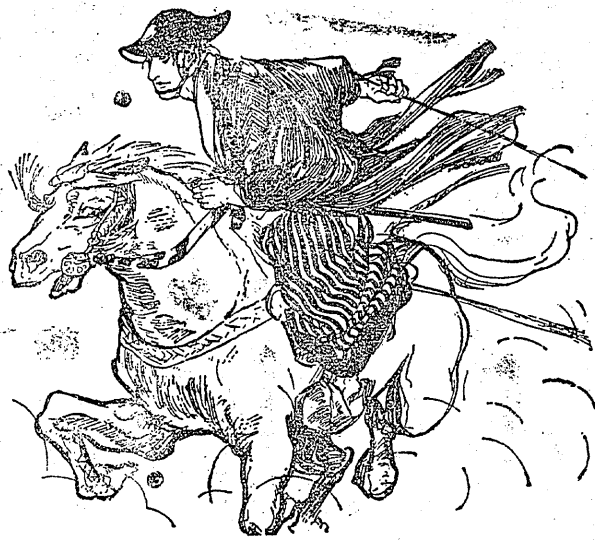
繞る瓦解の令

(讀上談上)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)



第一六六 馬て上野へ
天野八郎は彰義隊が數日來の疲勞を癒すために大分山をくだつたと聞いて嘆息した。官軍が今日も押しよせるやうに見せて今日まで戦ひにならぬは山に居る者をして奔命に疲らしめしかして兵を出す意志に相違ないと思つてゐる。ところが五月の十四日にはぞく／＼山を下つて自宅に引き取つたこれは困つたことだと思つた。官軍はかねて山に入れた置いた間諜の報告にて彰義隊が大分山を下つたと聞いてこゝで討伐することにした。彰義隊は約三千人がこの時には千人、官軍は攻撃の準備に着手して先づ正面黒門口を攻めるは薩州肥後因州彦根筑前兵、搦手、谷中は長州肥後筑後大村佐土原の兵、本郷向ヶ岡は肥前筑後の別働隊をして守らしめ、これは遊軍で危いところがあれば直に押よせることにしてある。根岸の方は兵をむけぬことにした。こゝだけは殊更に空けておく、それはこゝから彰義隊を遣すため、四方を取りまいてはげしく攻めると敵は死に物狂ひとなつて斬



つて出る、さすれば味方に死傷者を多く出すこれらを考慮して一方をくつろげておいた。なほ小石川水戸邸は尾州備前の兵をして守らしめ一ツ橋より水道橋阿州蜂須賀と尾州の別働隊をして守らしめ淺草藏前通りよ

り吾妻橋までは紀州の兵にて守らしめ、兩國から永代橋、それに神田川の橋々は藝州に津、津は藤堂侯のこゝとす、それに新發田のこゝは溝口侯それに筑前の兵を配置して、四日には大川の船宿へ官軍が出張して○十五日は日頃よりなじ

みの客なりともその注文に應じて船を出してはならぬもしそれに反くものあれば殿罰に處すぞ」といひわたし、斯の如に嚴重にかためをつけた。その時に西郷先生はまた山岡鐵太郎君を呼び西「あなたにも種々御苦勞をかけたが彌々明十五日上野を討伐することになり申した。まことに残念ではあれどかうなつては血をながしし彼等を山より追ひ下す外に名策はないのでう」といつく嘆息した

と申したがまことに情味の深いこの一言です、山岡君も涙をながし山「彰義隊の輕舉を未然に制する事もならず今こゝに兵を動かすことになりましたはまことに慚愧にたへぬこととございます、就ては何ぞ相當な用意もございましてならば承はるでござらう」この時西郷先生はしばらく考へてゐたが西「それではあなたに頼むことがある、上野にお在する宮様はえ來徳川家には何等の縁故もないのでう、今幕臣に擁されて包きところにお身をおかれるはまことに畏多き事である、明日にも砲火をまじへることになればこれぞ一大事、萬一宮様の御身に危害を及ぼすことなどあつては朝廷にたいして相すまぬあなたこれより上野に行かれて如何にもして宮様のお立ち退きなされる様計らふてはくださらぬか、宮様さへお立退きなさらばあとは烏合の兵共、半日のうちに彼等を追ひ拂ふことも出来るであらう」山「ハオ、成否はこれにて断言いたすことはなりませぬが兎も角もこのことについては拙者の刀のおよぶ丈つくすでございませう」とかく答へて直に馬を飛ばして上野にかけつけた

としましたが應せぬためにかゝる大事にもりました」西「如何ともいたしかたがないのでう、しかし彰義隊を討伐いたせばとてこの事によつて徳川家に累はわしが引受けて居る故心痛いたされるな」

廣告

店主	が	店員
を	連	れて
か	れる	行
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	茶
平・田町		
レストサロン		
電三五二番		

北川外科
平町新川町
院長 北川若夫
電話 四六四

井坂醫院
平町 田町
電話 五九九番

提燈
平町
電話 五九九番

齒科口腔外科
レントゲン科
平町土橋通り
電話三一三番
院長 東京齒科大學士 原 精一
原齒科醫院

胃腸性病性
内 科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
門 專
院醫性病胃腸村松
(番〇七一町南町平)
療 間

お醬油は ヤマフル
福島縣平町
醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品
鹽屋
電話 二七〇番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎